

週報

こひつじ

第39巻 38号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

死ねば、豊かな実を結ぶ

その二 二通りの人生

そこでイエスは言われた。人生には二通りがあると。

一粒のままの人生と土に蒔かれ、多くの実を結ぶ人生とが。

人はみな自分のためだけに生きることができれば、他人を慰め、励まし、その結果、他人に命を与えるような人生を送ることもできる。

私は、自分の家はなるべくきれいにしておきたいと思う。だから静かであることを好む。活動が多まなドラマが展開するほうがいいと、あとの片付けがめんどうなのだ。

そう私が言うと、妻はいつも次の聖書の言葉を私に投げかける。

何か。

「もし死ねば」である。人は死ななければ一粒のまま、死ねば多くの実を結ぶと聖書は言うのである。

心地よい今の生活を続けるのか、それとも思い切って困難な道に身を投ずるのか。

しかしその決断は必ずしも容易ではない。

イエスでさえ、その決断を前にして、心が騒ぐと言われたのだ。

「今わたしの心は騒いでいる。何と云おうか。『父よ。この時からわたしをお救いください。』と云おうか」

しかしイエスは、「いや。このためにこそ、わたしはこの時に至ったのです」(ヨハネ 11:27)

と確信して、決然と十字架へと向かわれたのである。

私も同じ決断ができたらと思う。しかし、考えてみると、この地上に生まれたというの、すでに人生という土壌に蒔かれているということではないだろうか。

どんな種も蒔かれると土の中で

反応する。

同様に、私たちも、自分が蒔かれた環境に反応しながら、これまで成長してきたのである。

生まれた子どもも、いつまでも

心で抱かれて、温かい気持ちのよいところばかりにはいられない。数年もすれば、母親から離れ、

保育園や幼稚園にゆくようになる。なかにはそれがつらくて、泣きじやくる子もいるだろう。が、そのうちに泣き止み、投げ込まれた環境でたくましく育つてゆくのだ。

あるお母さんが、困ったように言われた。

「うちの子は保育園にゆく日はわざとゆっくり着替えるんです。朝ごはんもゆっくり食べるんです。保育園がいやなんです。ひきずるようになって車に乗せ、保育園に着くと、今度は玄関で私から離れようとしません。保育園にやるの

は大仕事です。それなのに、迎えにゆくと、帰りがりません。もつと遊ぶって言うんです。保育園が好きなのか、きらいなのかさっぱりわかりません」

しかしだいじょうぶ。母子はと

どちらを望むか。

このように人生は二通りである。それら二つの人生を別つ言葉とは

もに子育てという土壌に蒔かれたのだ。やがて人はそこに多くの実を見ることになるだろう。

(続)

今日の礼拝

○第一礼拝は午前10時から、第二礼拝は午前11時から。○教会学校は午前10時からこ

ひつじ館で。

○説教は岩崎宏志さん。

先週の礼拝

○司会は宮元隆博さん、奏楽は吉岡裕美さん。

○九月二四日(日)開催の大津少年少女合唱団の定期演奏会の案内と招待の言葉を、団員の古谷実

咲さん(古谷良司・聡子夫妻の長女)が述べてくれました。

今回のミュージカルは「サウンド・オブ・ミュージック」です。そのテーマソングを合唱団の子どもたちが歌うのを録画で見ることができました。

○説教は米村牧師の予定でした

場所||阿蘇YMCA

日時||一〇月八日(日)、九日(月)

が、結城勝吾、直子夫妻が代わって証をしてくださいました。夫の勝吾さんは、北海道のCFNJ聖書学院のスタッフとして長く奉仕してくださっていましたが、四月から横浜ニューライフバプテスト教会の副牧師に赴任しておられます。友人の結婚式のため長崎へ向かう途中に、大津教会を訪ねてくださったのです。

ゲスト||岩崎義幸さん。(東京の日野キリスト教会牧師)費用||すべて献金によります。できるだけ若い人に参加してもらいたいからです。参加されなくても、若者の活動を応援してください。受付の献金箱をご利用ください。

なつてずいぶんたちますが、卒業生がぼくたちを個人的に訪ねてくれたのは初めてでした。小学六年の光世君、小学一年の希望ちゃん、それに三歳の真実ちゃんもいっしょで、一晩、泊まってくださったので、子どもたちとも親しくなり、楽しいときを過ごせました。すぐに感謝のメールが届きました。

おふたりの証は、ありのまま、正直で、弱さのなかに働かれるイエスのことを語ってくださいました。うに思います。

米村牧師夫妻は今日(二四日)は大阪ニューライフ教会で礼拝の奉仕をしています。そのあと千葉の老人福祉施設におられる幸子さんのお姉さん(八八歳)を訪ねますので、熊本に帰ってくるのは九月二六日(火)の予定です。

「二日間、ありがとうございます。午後九時過ぎに、ぶじ長崎に到着しました。今回は、突然の訪問にもかかわらず、泊まる場所やたくさんのおもてなしをいただき、また教会の皆さんにも温かく迎えられる、感謝でいっぱいです。

先週の出席

第一礼拝が四〇名、第二が三八名、合計七八名(男二八、女五〇)

子ども一名。合わせて八九名。

ユースキャンプ

コロナ禍で数年行なうことのできなかつたユースキャンプを今年には行ないます。

『現代に生きるイエスの教え』教会での販売価格は五〇〇円。

新しい本ができました。題は「結城勝吾、直子、光世、希望、真実」

牧師身辺

北海道の聖書学院で教えるように

牧師のメールアドレス。

yonemura@ja2.so-net.ne.jp